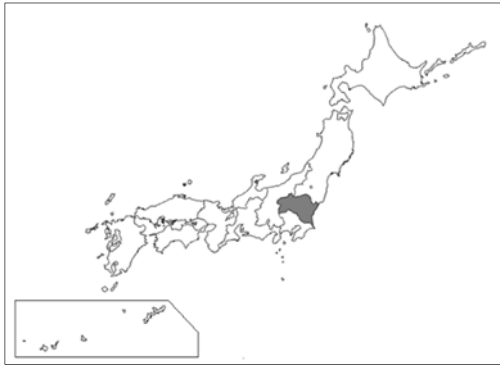


(3) 北 関 東



北関東地域では、景気は持ち直しに足踏みがみられる。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 個人消費はこのところ持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は緩やかに持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

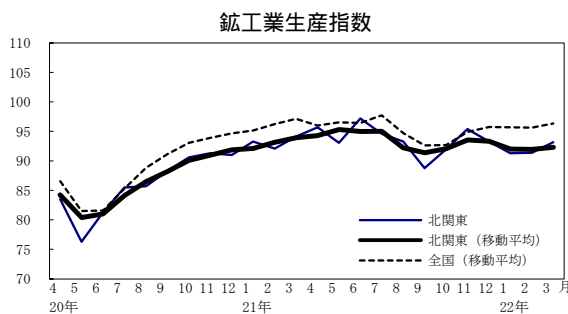
前回からの主要変更点

	前回 (令和4年3月)	今回 (令和4年6月)	
景況判断	持ち直しの動きとなっているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	
鉱工業生産	持ち直しの動きがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	
個人消費	このところ持ち直しに足踏みがみられる	このところ持ち直しの動きがみられる	
雇用	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直しに足踏みがみられる。

1-3月期の鉱工業生産は、「輸送機械」や「石油・石炭製品、化学、プラ製品」が減少したこと等により、前期比1.7%減となった。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10-12 月期	1-3 月期	1月	2月	3月
石油・石炭、化学、プラ製品	20.1	0.5	▲2.1	▲1.4	▲3.2	1.8
輸送機械	18.3	9.6	▲5.4	▲14.2	9.3	5.0
汎・生産・業務用機械	17.1	2.9	▲0.6	3.1	▲1.6	2.2
食料品・たばこ	12.1	0.1	—	▲2.3	0.1	—
電子デバ、電気・情報通信	11.2	▲1.7	1.7	5.0	▲3.1	1.3
鉱工業	100.0	1.4	▲1.7	▲2.1	0.1	2.0

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。北関東の最新月は速報値。
2. 全国及び北関東の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。
3. 北関東は内閣府にて算出。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 1-3月期、3月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。
3. 業種は内閣府にて分類。

2. 個人消費の動向

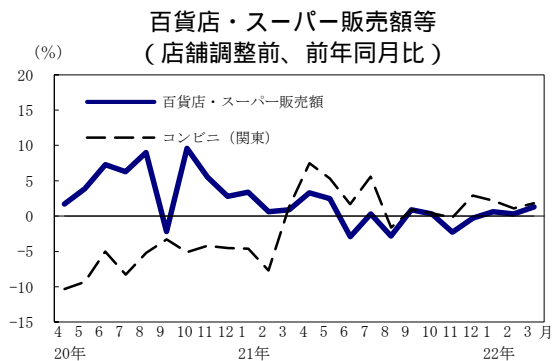
個人消費はこのところ持ち直しの動きがみられる。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1-3月期は前期比 0.9%増となった。月別にみると、1月は前月比 0.0%減、2月は同 0.2%増、3月は同 0.7%増となった。

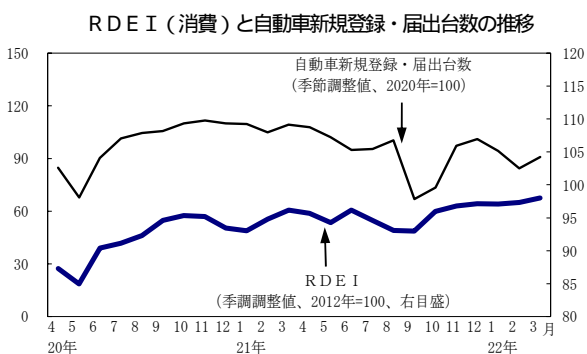
(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、1-3月期は前年同期比 0.8%増となった。月別にみると、1月は前年同月比 0.6%増、2月は同 0.3%増、3月は同 1.3%増となった。



	2022年1-3月	2022年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.9	▲0.0	0.2	0.7
百貨店・スーパー(*2)	0.8	0.6	0.3	1.3
コンビニ(*3)	1.7	2.2	1.1	1.8
乗用車(*4)	▲17.2	▲15.0	▲19.6	▲16.9
(季節調整値) (*4)	▲0.9	▲6.7	▲10.5	7.7

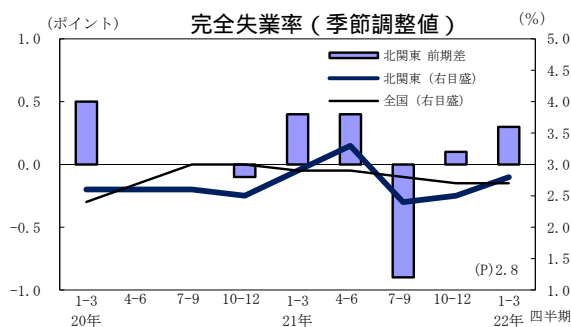
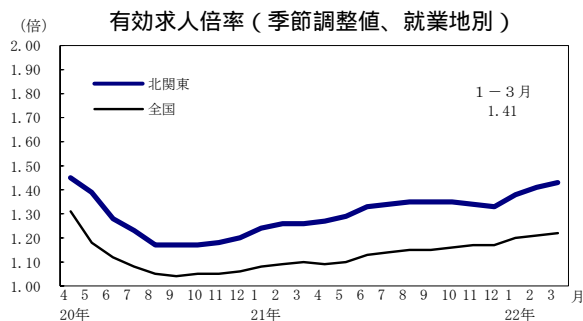
- (備考) 1. 季節調整済前期 (月) 比 (%)
 2. 店舗調整前、前年同期 (月) 比 (%)
 百貨店・スーパーは内閣府にて算出。
 3. 店舗調整前、前年同期 (月) 比 (%)
 コンビニは、経済産業省の関東 (茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡) の値。
 4. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期 (月) 比 (%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は緩やかに持ち直している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を上回っている。



- (備考) 1. 内閣府にて季節調整をおこなったが、季節性が認められなかったことから、原数値と同じ。
 2. 1-3月期の値は暫定値。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和4年4月調査) 景気判断理由の概要

3. 北関東

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

分野	判断	判断の理由	
		現状	先行き
現状	家計 動向 関連		<ul style="list-style-type: none"> ・まん延防止等重点措置解除となったものの、県内の新型コロナウイルス新規感染者数が余り減少せず、売上、来客数の回復は鈍い(百貨店) ・新型コロナウイルス禍やロシアのウクライナ侵攻等で、先行きを心配してか、法人、個人を問わず、車の話題が盛り上がらない(乗用車販売店)
		×	<ul style="list-style-type: none"> ・まん延防止等重点措置が解除されたことで、飲食店、ホテル等の注文が増えている(一般小売店[青果]) ・4月より食料品やガソリン等の必需品が値上がりしており、客は買い控えしている(ゴルフ練習場)
	企業 動向 関連		<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動は戻りつつあるが、材料価格高騰分の転嫁が進まず、業績は厳しい(社会保険労務士) ・自動車生産ラインの停止が頻発している。生産ライン停止の情報は直前に出るため、サプライチェーンに多大な悪影響が出ている(一般機械器具製造業) ・4月以降、値上げや納期未定になる前に修繕を行いたいという相談が少し増えている。できれば今月中に完了したいという希望もあり、少しではあるが売上が伸びている(不動産業)
		×	<ul style="list-style-type: none"> ・製造派遣の求人が多くなったため、やや良くなっている(人材派遣会社) ・求人数も若干増えているが、求職者数が増加傾向にあるので、景気が良いとはいえない(職業安定所)
	その他の特徴 コメント		<ul style="list-style-type: none"> ：徐々にだが、個人の宿泊だけではなく、法人の会合等の予約も増えてきている(都市型ホテル) ：季節的な要因もあるが、県内外から大勢の観光客がきている。新型コロナウイルスの感染対策をしながらではあるが、少しずつ元に戻ってきた感がある(一般レストラン)
先行き	家計 動向 関連		<ul style="list-style-type: none"> ・材料価格の高騰により再見積りをしなければならないケースが目立っている。売る側も買う側も決めきれない場面が増えている。今後も同様の状況が想定され、何らかの対応を考えなくてはならないと思っている(その他住宅[住宅管理・リフォーム]) ・徐々に来園者が増加している。学生団体についても、例年どおりの時期に来園や予約が入ってきていることから、良くなる傾向にある(テーマパーク) ・商材の販売価格が次々と上昇しており、これがマイナス要因となってくる(コンビニ)
		×	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度は新型コロナウイルスの感染状況が収まってきているので、特に、レジャー、バーベキュー用品、好天による夏物家電のエアコンや扇風機等の物量は、前年並みを確保予定である。しかし、燃料、原油価格の高騰や協力会社の車両不足により、不安が残る状況である(輸送業) ・取引先から「今後段々、注文数が減っていくかもしれないので、ちょっと厳しいかもしれない」といわれている。今のところ、前年と同じかやや低い状態で動いているが、今後はやや厳しい状態になるかもしれない(電気機械器具製造業)
	雇用 関連		<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品関連の製造計画が下がったため、やや悪くなる(人材派遣会社)
	その他の特徴 コメント		<ul style="list-style-type: none"> ：値上がりが続くなか、小売価格へ転嫁せざるを得なくなり、一段と財布のひもが固い状況は続く(商店街) ×：売上が回復しない上に、そろそろ新型コロナウイルス関連融資の返済が始まる。個人、零細、中小企業からの発注はまだしばらくは期待できない(通信会社)

(D I) 現状・先行き判断D I (北関東)の推移(季節調整値)

